

第5次藍住町総合計画

〔概要版〕

平成28年3月
藍住町



計画策定の目的

本町では、平成17年度に第4次藍住町総合計画を策定し、「花と緑と太陽の町 藍住」を町の将来像に掲げ、各分野で計画的にまちづくりを進めてきました。

一方、この間、我が国では、総人口が減少に転じ、少子高齢化が加速化するとともに、更なる国際化、高度情報化が進むなど、社会経済環境が大きく変化しています。平成23年には東日本大震災が発生し、その教訓をまちづくりに活かしていくことも課題となっています。

地方自治の分野では、「平成の大合併」があり、自主自立を選択した本町は、デメリットを知恵と工夫で乗り越え、住民がいつまでも安心して暮らし続けられる行財政運営に努める必要があります。

このような中で、本町が今後めざすべきあり方を描き、その実現に向け、住民と行政が協働で施策・事業を推進するための指針として、「第5次藍住町総合計画」を策定します。

計画の期間

町の将来像と、これを実現するための政策の基本的な方向を示す「基本構想」、施策の具体的な内容を分野別に体系化し、その方針を明確化する「基本計画」とともに、計画期間は、平成28年度を初年度とし、37年度までの10年間とします。

基本計画は、必要に応じて、平成32年度に見直しを行います。

総合計画の計画期間

西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
平成	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年
基本構想	10年間									
基本計画	10年間									
						改定計画（5年間）				

町の将来像

本町は、人口減少の時代にあって、首都圏などの大都市以外で人口が増加を続ける数少ない町です。住民の平均年齢が全国有数の低さであることは、若者を中心に、多くの人が入り、新しい活気を生み出してきたことを意味しています。

こうした特長を持つ本町では、古くからの住民も、新しく転入した住民も、共に力をあわせて、まちづくりを進めることが重要です。

本計画では、10年後の町の将来像として、「みんな色で染めるまち・藍住」を掲げます。

町の将来像

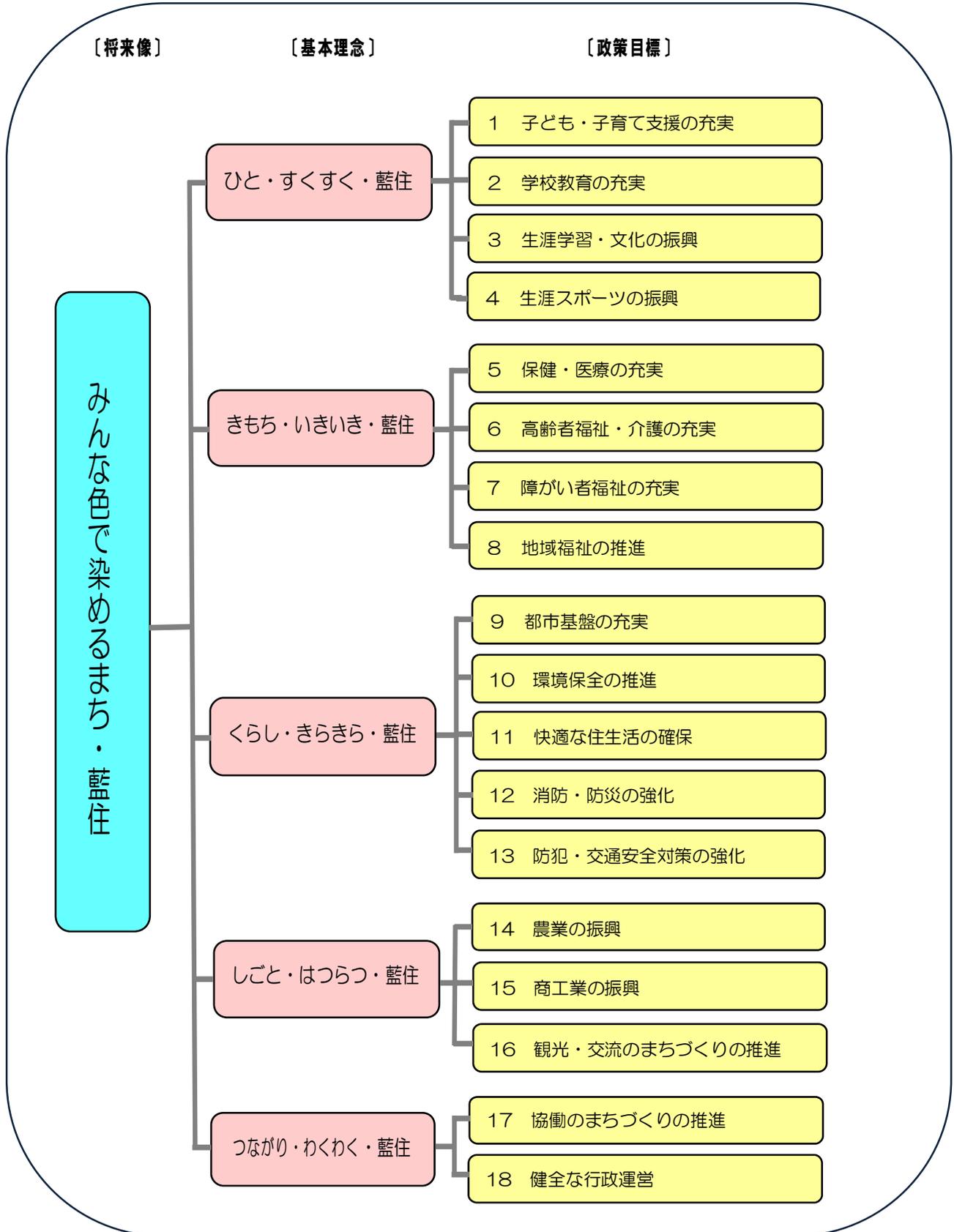
みんな色で染めるまち・藍住

教育、保健・医療・福祉、生活環境整備、産業振興など、各分野で、住民と行政が協働し、誰もが美しいと思える色で、藍住町を染めていきます。

政策の方向

将来像と5つの基本理念のもとに、18の政策目標を掲げます。

施策の体系図



基本理念1 ひと・すくすく・藍住

家庭、学校や就学前教育・保育施設などの関係機関、そして地域が一体となり、子どもたちをすくすくと育てるとともに、生涯学習・スポーツ・文化活動を通じて大人も日々成長する、“ひと・すくすく・藍住”をめざします。

政策目標1 子ども・子育て支援の充実

◆◆めざす姿◆◆

地域ぐるみで子育てを支え、子どもたちがすくすくと育っている

妊娠・出産期、乳幼児期の親と子が健やかに成長し、安心して子育てができるよう、また、本町に暮らす若者が、この町で子どもを産み育てたいと思えるよう、育児不安の解消や、親と子の健全な発達を支援する母子保健事業をきめ細やかに展開するとともに、保育所、幼稚園での保育・教育の充実、地域子育て支援センター、児童館での学びと遊びの充実、さらには子育てを支援するボランティアのネットワークの強化により、地域ぐるみで子どもたちを育てていきます。

施策項目

◇母子保健事業の推進 ◇就学前教育・保育の充実 ◇子育て支援の充実

政策目標2 学校教育の充実

◆◆めざす姿◆◆

生きる力と生涯にわたって学び続ける意欲を持つ子どもたちが育っている

本町で学齢期を過ごす子どもたちが、生きる力と生涯にわたって学び続ける意欲を持つ大人に成長できるよう、家庭と学校・地域が連携しながら、基礎的な学力・生活習慣の定着を基本に、国際化、情報化など急速な社会の変容に柔軟に対応できる教育を推進します。また、福祉、環境、産業、伝統文化などの体験を通じて、自主性や創造性に富み、他人を思いやる心の教育を推進します。

さらに、いじめや不登校のない安心安全な学校、支援が必要な児童・生徒に、よりきめ細かな対応ができる学校、学習環境が整った快適な学校をめざしていきます。

施策項目

◇教育内容の充実 ◇困っている子を決して見捨てない教育の実践 ◇教育環境の整備

政策目標3 生涯学習・文化の振興

◆◆めざす姿◆◆

多様な生涯学習、文化・芸術活動が展開され、成果がまちづくりに活かされている

住民一人一人が、それぞれの年代や興味・関心、ライフスタイルに応じて、多様な生涯学習、文化・芸術活動に取り組んで生活を楽しむとともに、成果がまちづくりに還元され、町の発展につながるよう、ニーズに沿った講座の展開やイベントの開催、継続的に活動する自主グルー

プの育成・支援を進めます。

また、人権尊重のまちづくりをめざして、ライフサイクルに対応する学習の機会を提供し、指導者の育成・充実を図ります。

さらに、町の文化創造・発信の拠点となる「(仮称) 藍住町文化ホール等複合公共施設」を整備し、住民の文化・芸術活動の活性化に努めるとともに、勝瑞城館跡や藍の館をはじめとする遺跡、文化財の保存と活用を図ります。

施策項目

- ◇多様な学習、文化・芸術活動の促進
- ◇読書活動の推進
- ◇人権教育・啓発の推進
- ◇青少年の健全育成
- ◇歴史や文化の保全と活用

政策目標4 生涯スポーツの振興

◆◆めざす姿◆◆

多様なスポーツ活動が展開され、成果がまちづくりに活かされている

子どもから高齢者まで、多くの住民が日常的に多様なスポーツ・レクリエーション活動に参加し、人々との交流を楽しみ、心豊かに過ごせるよう、ニーズに沿った講座の展開やイベントの開催、継続的に活動する自主グループの育成・支援を進めます。

ウォーキング、体操、機器トレーニング、パークゴルフなど、個人の心身の状況にあわせて健康づくりを進められるメニューへの参加者の拡大に努めるとともに、カローリング（陸上カーリング）など、新たなメニューの開発・普及を図り、まちづくりにつなげていきます。

施策項目

- ◇スポーツ・レクリエーション活動の促進
- ◇スポーツ・レクリエーション環境の整備

基本理念2 きもち・いきいき・藍住

支援が必要な状態になっても、保健・医療・福祉サービスやボランティアの支援を受けながら、いきいきと暮らせる“きもち・いきいき・藍住”をめざします。

政策目標5 保健・医療の充実

◆◆めざす姿◆◆

すべての住民が自身の健康に関心を持ち、適切に健康管理を行っている

健康づくりには、住民一人一人の自覚と意識改革が必要です。「自分の健康は自分でつくる」という理念のもと、健康診査による健康状態の把握の徹底と、適切な食生活、適度な運動・身体活動、心の健康の3領域に重点を置いた健康づくり活動の促進に努めます。

また、板野郡医師会等と連携しながら、いつでも安心して必要な医療を受けられる体制の確保に努めます。

施策項目

- ◇健康増進事業の推進
- ◇国民健康保険・後期高齢者医療の健全運営
- ◇地域医療の維持・強化

政策目標 6 高齢者福祉・介護の充実

◆◆めざす姿◆◆

高齢者が地域でいきいきと安心して暮らしている

高齢者が健康でいきいきと暮らせる期間をできるだけ長く持てるよう、要介護状態や認知症になることの予防の取組を推進・強化するとともに、要介護状態や認知症になっても安心して暮らせるよう、介護や医療、福祉に関する公的サービスと、ボランティア・地域住民による見守り・生活支援を重層的に組みあわせた「地域包括ケア」の体制を維持・強化していきます。

施策項目

◇介護予防・生きがいつくりの推進 ◇地域包括ケアの推進 ◇介護保険サービスの充実

政策目標 7 障がい者福祉の充実

◆◆めざす姿◆◆

地域で支えあいながら、誰もがいきいきと安心して暮らしている

発育・発達に不安のある乳幼児への療育・発達支援の充実に努めるとともに、一人一人への個別の支援計画を通じた就学前期、就学期、成人期の連続的な指導・支援を継続していきます。成人期には、一般就労や福祉的就労、生活リハビリなど、心身の状態に応じた多様な日中活動が行える環境づくりを図るとともに、グループホームなど自立生活を支える住まいの確保を図っていきます。

また、障がいを持つ人も持たない人も、お互いに理解し、協力しあいながら共に豊かな地域社会をつくるという「ノーマライゼーション」の実現に向けた取組の強化に努めます。

施策項目

◇療育・発達支援の推進 ◇福祉サービスの充実 ◇共に歩む地域づくりの推進

政策目標 8 地域福祉の推進

◆◆めざす姿◆◆

地域で支えあいながら、誰もがいきいきと安心して暮らしている

障がいや難病がある、生活に困窮している、虐待、いじめ等の人権侵害を受けたなど、支援が必要な状態にある住民を、ボランティア・地域住民と公的サービスのネットワークで見守り、支え、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

また、年金制度をはじめとする社会保障制度の周知・啓発に努めます。

施策項目

◇権利擁護の推進 ◇地域福祉活動の活性化 ◇生活支援の推進と社会保障制度の周知

基本理念3 くらし・きらきら・藍住

水と緑が調和したうるおいある田園環境のもと、交通基盤やごみ処理、上下水道などの体制が整い、地域ぐるみで積極的に災害や犯罪、事故等に備える、“くらし・きらきら・藍住”をめざします。

政策目標9 都市基盤の充実

◆◆めざす姿◆◆

農地の保全との調和のもと、充実した都市基盤が整備され、住民が快適に生活している

都市基盤は、高度に有効利用された土地、広々した区画、明確に歩車分離され円滑に移動できる道路、生活にうるおいを与える公園・緑地、災害に強い住宅などが整い、相互に有機的連携を保っていることが理想です。

長年の人々の営みの積み重ねの中で都市基盤が形成された本町では、大規模な都市計画は不可能ですが、町の魅力を向上し、住みよい町を未来に引き継いでいくために、都市基盤への投資を継続的に進めていきます。

施策項目

◇土地の適正利用の推進 ◇情報基盤の充実 ◇道路・橋りょうの充実 ◇地域公共交通対策の充実

政策目標10 環境保全の推進

◆◆めざす姿◆◆

美しい自然が保全され、水や生態系、エネルギーの循環が健全に保たれている

美しい自然景観や生態系を次世代に引き継いでいくために、住民と行政が協働しながら、美化活動等を推進するとともに、環境にやさしく、ごみを出さないライフスタイルの普及に努めます。また、生活排水の適切な浄化を図り、河川・海洋の汚染を防止するため、公共下水道、合併処理浄化槽の普及を引き続き進めていきます。

さらに、自然エネルギーの有効活用に関する取組を推進していきます。

施策項目

◇美しい環境・景観の保全 ◇適切なごみ処理の推進 ◇生活排水の適正処理
◇自然エネルギーの有効活用

政策目標11 快適な住生活の確保

◆◆めざす姿◆◆

充実した住宅、水道、公園などにより、快適な住生活が営まれている

住民が安心・快適にゆったりと暮らし続けられるよう、住宅、水道、公園など、住生活施策を推進します。

住宅については、災害に強い家づくりなど住宅ストックの質の向上を促進するほか、宅地造成に際し、地区計画制度など各種手法を活用するなど、住宅環境の向上に努めます。また、公

営住宅の適切な維持管理と長寿命化を図ります。

水道については、老朽管の計画的な更新、災害時の応急給水や復旧体制の充実などに努め、水道事業の安定運営を図ります。

公園・緑地については、憩いの場としてだけでなく、住民の様々な活動の場や災害時の一時的な避難場所をはじめ、様々な機能を有しており、機能充実と維持管理に努めます。

施策項目

- ◇住宅環境の向上
- ◇水道の安定供給
- ◇公園・緑地の充実

政策目標 1 2 消防・防災の強化

◆◆めざす姿◆◆

住民の強い防火・防災意識のもと、安全・安心な消防・防災体制が整っている

住民の生命・身体・財産を守るためには、強い消防力が不可欠です。広域行政による常備消防と消防団、医療機関等が密接に連携しながら、多様化する消防・救急要請に迅速・的確に対応できる体制の維持・強化に努めます。

防災については、大災害時は、初動期の地域での自主的な避難・救助が重要であるため、情報伝達、避難誘導、避難所の開設・運営、広域的な応援・受援など、初動活動体制の確立・強化に努めます。また、発災後の日常行政サービスの業務継続・再開体制の確保に努めます。

施策項目

- ◇消防・救急体制の維持・強化
- ◇防災・危機管理体制の強化
- ◇業務継続体制の充実

政策目標 1 3 防犯・交通安全対策の強化

◆◆めざす姿◆◆

犯罪や交通事故の発生率が少ない状態を継続している

全国的に、犯罪の発生件数や交通事故による死亡率は、ピーク時から減少傾向にあります。いずれも、ゼロにすることは困難ですが、地域ぐるみで、防犯活動や交通安全運動を引き続き推進し、犯罪や交通事故の発生率が少ないまちをめざしていきます。

施策項目

- ◇地域防犯活動の促進
- ◇交通安全対策の推進

基本理念4 しごと・はつらつ・藍住

肥沃な土地や水資源、徳島市や徳島空港に近い立地などを活かし、創意・工夫に励みながら、付加価値の高い産品・サービスを未来にわたって生み出し続ける、“しごと・はつらつ・藍住”をめざします。

政策目標14 農業の振興

◆◆めざす姿◆◆

安全・安心・高品質な農産物を安定して生産している

農業は、安全・安心な食料を安定的に市場に供給していますが、その役割はそれに留まらず、加工等による他の産業への波及、環境保全、食育など、多面的な機能があり、継続的な振興が求められます。

そのため、担い手の育成・確保、作業の受委託などによる経営の一層の効率化、人と環境にやさしい農業の推進などを進め、優良な農産物の安定生産を図ります。

また、TPP（環太平洋連携協定）による競争激化に打ち克つため、県や県内市町村、関係団体等と連携しながら、ブランド化や販路拡大を図っていきます。

施策項目

◇担い手の確保 ◇安全・安心な高品質農産物の安定生産 ◇農業の多面的機能の発揮

政策目標15 商工業の振興

◆◆めざす姿◆◆

大企業と中小企業が共存し、地域の活力が維持されている

大企業や大型小売店舗の立地は、地域に高い雇用創造効果をもたらすとともに、地域住民が豊富な品ぞろえの中からより安い商品・サービスを選択できるという利点があります。

しかし、小さくとも経営主体（本社）が町内にある企業・店舗の立地は、地域経済の振興に不可欠であり、大企業と中小企業が共存できるまちづくりをめざしていきます。

そのためには、地元経営者・従業員が創意・工夫し、多様なビジネスモデルを絶えず開拓していくことが重要であり、町商工会等と連携しながら、起業・新分野進出の促進に重点を置いた商工業振興策を推進していきます。

施策項目

◇人材の育成 ◇起業・新分野への進出の促進 ◇経営安定化への支援 ◇雇用の促進

政策目標16 観光・交流のまちづくりの推進

◆◆めざす姿◆◆

観光・交流資源がより魅力的になり、訪問客が堅調に増加している

観光・交流は、地域経済への波及効果が期待できるとともに、地域住民の誇りや愛町意識の醸成、地域文化の振興など、様々な多面的な機能があります。

しかし、本町の観光は、100万人が訪れる阿波おどりや、眺望スケールが魅力の鳴門海峡、

歴史資源が集積する脇町などと比べ、観光資源としての魅力に欠けることは否めません。

そのため、藍の館の適切な管理運営により、入込客の増加を図るなど、藍文化、染織文化の底上げ、バラ園の充実や勝瑞城館跡の環境整備などを通じて、地域資源の魅力化・ネットワーク化を図り、藍住ファンの獲得につなげていきます。

施策項目

◇染織文化のまちづくりの推進 ◇観光拠点の充実とネットワーク化 ◇地域間交流・国際交流の促進

基本理念5 つながり・わくわく・藍住

住民どうしが多彩な地域活動の中でつながり、支えあい、住民と行政が協働で住みよい地域を創っていく“つながり・わくわく・藍住”をめざします。

政策目標17 協働のまちづくりの推進

◆◆めざす姿◆◆

住民一人一人が主体的に地域課題の解決に取り組み、支えあっている

豊かな地域社会の形成と、地域課題の住民自身による主体的な改善・解決を図るため、日ごろからのあいさつ、声かけ、見守りや地域コミュニティでの共同作業などを通じて、住民自治の維持・強化に住民と行政が協働で取り組んでいきます。

また、こうした自助・共助で解決できない生活課題に公助が的確に対応できるよう、行政制度・サービスの積極的な広報ときめ細かな広聴活動を展開するとともに、住民と行政の協働のまちづくりが円滑に行える仕組みづくりを進めていきます。

さらに、男女が共に輝くまちづくりに向けて、男女の固定的な役割分担意識を払拭する学習の展開や配偶者等暴力対策の推進等に努めるとともに、外国人と日本人とが互いの文化を理解しあう「多文化共生」を推進していきます。

施策項目

◇地域活動の活性化 ◇広報・広聴の充実 ◇男女共同参画の推進 ◇多文化共生の推進

政策目標18 健全な行政運営

◆◆めざす姿◆◆

職員一人一人の能力が最大限に発揮され、健全な行政運営が行われている

住民ニーズの多様化などに対応するため、PDCAサイクルによる行政評価の確立と職員の意識改革や能力開発を積極的に推進し、自立した行政組織の確立に努めます。

また、行政情報化、公共施設等の総合管理などを推進し、効率的な行政運営を進めます。

財政については、産業の振興や定住の促進などにより、自主財源の確保を図るとともに、経常経費の節減、税の収納対策の推進等により、健全な財政運営に努めます。

また、定住自立圏構想等に基づき、広域行政を推進します。

施策項目

◇PDCAサイクルの運用と着実な行政改革の推進 ◇強固な行政組織づくりの推進 ◇行政情報化の推進
◇公共施設等の総合管理の推進 ◇健全な財政運営の推進 ◇広域行政の推進

数値目標

政策目標	指標名	平成 26 年度現状値	平成 32 年度目標値
1 子ども・子育て支援の充実	合計特殊出生率	1.53	1.8
	乳幼児健診受診率	95.9%	100%
	0～3歳児の保育所受入れ数	430 人	544 人
	放課後児童クラブ対象学年	小学 3 年生まで	小学 6 年生まで
	板野東部ファミリー・サポート・センターの会員数	878 人(平成 25 年度)	1,000 人(平成 30 年度)
2 学校教育の充実	教育委員会評価のA項目の割合	23%(13 項目中 3 項目)	50%
	特色ある藍住教育の実施校数	全校	全校
	年間 30 日以上欠席した小中学生の人数	51 人	35 人以下
3 生涯学習・文化の振興	教育委員会評価のA項目の割合	30%(10 項目中 3 項目)	50%
	図書の間貸出冊数	214,557 冊	236,600 冊
	(仮称)藍住町文化ホールの利用人数	未設置	30,000 人
	(仮称)藍住町文化ホールの稼働率	未設置	70%
	ホールサポーターの人数	未設置	20 人
	文化・芸術活動で活用する古民家数	1(藍の館)	2
4 生涯スポーツの振興	あいずみスポーツクラブの会員数	1,459 人	3,500 人
	あいずみファミリースポーツフェスティバルの参加者数	880 人	1,200 人
5 保健・医療の充実	心疾患標準化死亡率(国の平均を 100 として)	男性 113 女性 93	男性 95 女性 90
	脳血管疾患標準化死亡率(国の平均を 100 として)	男性 98 女性 123	男性 90 女性 95
	国民健康保険特定健康診査受診率	31.5%	60.0%
	メタボリック・シンドローム該当者・予備軍の割合	28.7%	25.0%
	糖尿病有病率	5.7%	5.0%
	ヘルスマイト(食生活改善推進員)の養成人員	86 人	100 人
6 高齢者福祉・介護の充実	要介護認定率	19.3%(平成 25 年度)	逡減させる
	認知症サポーターの人数	1,064 人	2,000 人
7 障がい者福祉の充実	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	9,743,791 円	48,750,000 円 (平成 28～32 年度累計)
	特別支援学校卒業や精神科病院退院、入所施設退所を機に、藍住町内で在宅生活を始めた障がい者の人数	—	10 人(平成 28～32 年度累計)
8 地域福祉の推進	町社会福祉協議会の加入率	44.6%	50%
	町社会福祉協議会の登録ボランティア数	32 団体 968 人	50 団体 1,500 人
9 都市基盤の充実	地区計画の導入数	1	2 以上
	町道の改良率・舗装率	改良率 76.1% 舗装率 97.0% (平成 25 年度)	改良率 80.0% 舗装率 98.0%
	補修が必要な橋りょう数	15 橋	12 橋

政策目標	指 標 名	平成 26 年度現状値	平成 32 年度目標値
10 環境保全の推進	全町一斉清掃の参加者数	6,882 人	6,775 人
	正法寺川みどり橋のBOD (生物化学的酸素要求量)	8mg/l	5mg/l以下
	1人1日当たりごみ排出量	852g(平成 24 年度)	800g以下
	リサイクル率	22.1%(平成 24 年度)	30%
	汚水処理人口普及率	51.2%	62.0%
	公共下水道の人口普及率	8.4%	15%
	公共下水道接続基数	436 基	800 基
11 快適な住生活の確保	木造住宅の耐震化率	72.2%(平成 25 年度)	100%
	老朽(20年経過)水道管の割合	50%程度	減少させる
12 消防・防災の強化	自主防災組織の活性組織数	15 組織	30 組織
	災害による死傷者数	—	0 人(平成 28~32 年度累計)
	消防団員数	100 人	100 人
	火災発生件数	6.8 件(平成 22~26 年平均)	3.4 件(平成 28~32 年平均)
13 防犯・交通安全対策の強化	刑法犯認知件数(人口千人当たり)	11.4 件(平成 25 年)	半減をめざす
	交通事故発生件数(人口千人当たり)	4.7 件	半減をめざす
14 農業の振興	新規就農者数	1 人(平成 22~26 年度累計)	5 人(平成 27~31 年度累計)
	春夏ニンジン出荷額	26 億円(平成 25 年)	28 億円
	「6次産業化」による商品化数	2 件(平成 22~26 年度累計)	3 件(平成 27~31 年度累計)
15 商工業の振興	製造品出荷額等	753 億円(平成 25 年度)	800 億円
	年間商品販売額(卸売+小売)	491 億円(平成 24 年度)	550 億円
	「がんばる商工業者」の認定数	12 事業者	20 事業者
	新商品お試し購入事業者数	1 事業者	3 事業者
	「まちゼミ」の延べ参加人数	—	2,200 人 (平成 27~31 年度累計)
16 観光・交流のまちづくりの推進	藍の館の年間入込客数	26,569 人	35,000 人
	バラ園の年間入込客数	16,000 人	20,000 人
17 協働のまちづくりの推進	町の審議会等における女性委員の登用率	22.3%(平成 25 年度)	40%以上(平成 30 年度)
18 健全な行政運営	行財政改革基本計画の進捗率	—	70%
	ふるさと納税額	50,000 円	1,000,000 円 (平成 28~32 年度累計)
	財政調整基金残高	6.16 億円	10 億円

第 5 次藍住町総合計画〔ダイジェスト版〕

平成28年 3 月

発行：徳島県藍住町

編集：藍住町役場 企画政策課

〒771-1292 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52番地1

電話：088-637-3124 F A X：088-637-3155